

キャラクター名
X エックス

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ブラックドッグ	ワークス	レネゲイドビーイングA	カヴァー	生物兵器
	オプショナル ノイマン	年齢	15	性別	男
覚醒	素体	衝動	自傷	初期侵食率	46 %
出自	素体No,XXX	経験	死と再生	邂逅	雇い主

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	44
肉体	4	1	3	1		9	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	1	0	0			1	戦闘移動	10
社会	1	0	0			1	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アームブレード	白兵	9r+9	3	9		ガードが行われた場合G値を-5して計算
【コードα】	白兵	8r+15		18		2+3+4+5+7
【コードβ】	白兵	8r+14		27		2+3+4+5+7+8
【コード∞】	白兵	8r+14		17		祭典適用時

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
アームブレード	
ダーマルプレート	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D機械化兵 フルボーグP		N		
S南方軍部司令官 ケルヴィンP	尽力	N 無関心		
【戦場で散る命】	P 同情	N 無関心		
八神桜華	P 好奇心	N 無関心		
時狂い	P 親近感	N 嫉妬		
★メンテ係	P 信頼	N 不信感		
★三日月華	P 親近感	N 無関心		

最大財産P: 14 残り財産P: 14

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1		常時	至近	自身		RB	
効果: 衝動判定を+1vd 基本侵食+5 侵食ボーナス無し								
オリジン ヒューマン	5	2	マイナー		自身		RB	
効果: シーン中達成値を+1v								
コンセントレイト エグザイル	3	2	メジャー			シンドロ		
効果: c-1v 下限7								
伸縮腕	2	2	メジャー	視界		白兵		
効果: 射程を視界に変更する。3-1vd								
異形の祭典	3	3	メジャー		lv+1	シンドロ		
効果: 攻撃範囲をlv+1する。攻撃力を-10								
ハードワイヤード	4		常時		自身			
効果: 専用アイテムをlv個所持 基本侵食+4								
マルチウェポン	1	3	メジャー	武器		白兵		
効果: 二つの武器を使用できる								
ヴァリアブルウェポン	1	3	メジャー	武器		白兵		
効果: 武器を+lv個使用 マルチと併用								
磁力結界	2	3	オート					
効果: ガード値を+lv d								
加速装置	3	1	セット		自身			
効果: ラウンド中行動値を+lv*4								
スプリングシールド	2	2	オート		自身			
効果: ガード値を+10 シーンlv回								
オールレンジ	4	2	メジャー			白兵		
効果: +1vd								
電波障害	★							
効果: 無線電波による通信を妨害する								

とある研究者によって生み出され、破棄された失敗作。
 ほぼ死にかけていた彼は戦場のウイルスに体内のレネゲイドウイルスが同調しトライブリードとして覚醒した。
 その際に腐敗していた部分はサイボーグ化されているが外見からは見えない。
 本人に明確な意思はなく、命じられたまま戦う兵器。
 戦場を終わらせることを思考の中にプログラムされているものの思考回路は故障しており、真意は不明。
 ワーディングを展開、あるいは他のワーディングに反応して戦闘プログラムが起動する。
 平常時の行動は無垢な少年のそれであり、食欲に忠実に動く。
 人間の器官と機械としての機能が入り混じっているため人間用の食料であろうとガソリンや灯油などの化石燃料も食す。さらに休眠状態では周囲の電気を奪い充電を始めるハイブリット。
 何が主な燃料となっているのか雇い主はおろか本人すら理解していないが甘味を好む。

大量殺戮兵器としてデザインされたために人がいるところへ向かう性質がある。本人の明るい性格から誤解されがちであるが彼が人へ近づくのは人が好き嫌い以前の問題として本能的にそうプログラムされているからだ。
 本人は人間が好きだがそれと両立して人間を殺すためのプログラムが内蔵されている。
 彼にとって殺戮は本能であり生きる意味、疑問を差し挟む余地など存在せず、そこにためらいは介在しない。
 まったく人類が呼吸をするように、彼は人の命を絶つ。
 サイボーグであり人造人間、殺戮を前提として作られた彼にとってそれは思考以前の問題である。

